

研修参加者の声

声

高倉先生に直接ご指導いただいた経験を今後に活かしていきたいです!!

「人体解剖」と聞いて少し抵抗を感じていたのですが、高倉先生の熱意ある説明を前にすると、生で実際の体を見れることにただただ感動しました。机上で勉強するよりずっと分かりやすく、印象に残り、内容が頭に入ってきました。また、日本では珍しい頭蓋仙骨療法や水療法なども学び、施術に幅が広がりました。海外で学ぶことで施術家、講師、人間としても視野を広げることができたと思います。高倉先生という偉大な先生とお会いできたこの貴重な経験を自分の今後に活かしていきたいです。高倉先生、ありがとうございました!

櫻井佑佳さん

HTA認定メディカルトレーナー講師
HTA認定リラクゼーションセラピスト講師
HTA認定アロマセラピスト講師
HTA認定ボディセラピスト講師
日本心療学会認定心理士

期待していた以上の経験となり、人体の奥深さを痛感しました!!

整体師という職業上、是非一度は骨・筋肉を直に見ておきたいと思い、今回参加しました。人体解剖研修は、先に筋肉・内臓などのレクチャーを受けてから実際に人体を見て勉強するので、とてもわかりやすく、期待していた以上の経験となりました。参考書では理解しきれなかった筋肉の深層・浅層の関係も、しっかりと把握することができ、同時に人体の奥深さも痛感しました。機会があれば、今度は内臓・神経系に焦点をあて、更に人体について追求していきたいです!

山口 勇樹さん

HTA認定メディカルトレーナー講師
HTA認定リラクゼーションセラピスト講師
HTA認定ボディセラピスト講師

研修スケジュール

2011年9月12日(月)～9月19日(月) [6泊8日]

1日目 (9/12)	15:40 東京(成田)発 【日付変更線通過】…時差-17時間 08:35 シアトル着 12:45～13:30 ●カイロプラクティッククリニック見学 (Wellness One) 14:30～15:30 ●Bastyr University カイロクリニック見学
2日目 (9/13)	09:00～10:50 ●人体解剖 レクチャー 「上肢・下肢」 11:00～12:00 ●人体解剖 「上肢・下肢」 13:00～14:50 ●カイロ施術 「上肢・下肢」 15:00～15:30 ●運動療法 「上肢・下肢」 15:40～17:30 ●ハーブ療法 筋骨格系
3日目 (9/14)	09:00～10:50 ●人体解剖 レクチャー 「背中・首」 11:00～12:00 ●人体解剖 「背中・首」 13:00～14:50 ●カイロ施術 「背中・首」 15:00～15:30 ●運動療法 「背中・首」 15:40～17:30 ●ハーブ療法 「背中・首」
4日目 (9/15)	09:00～10:50 ●人体解剖 レクチャー 「内臓・頭」 11:00～12:00 ●人体解剖 「内臓・頭」 13:00～14:50 ●運動療法 「内臓・頭」 15:40～17:30 ●ハーブ療法 「内臓・頭」
5日目 (9/16)	09:00～12:00 ●水療法 13:00～14:50 ●頭蓋仙骨療法 15:00～16:30 ●内臓マニピュレーション 16:40～17:30 ●ハーブ療法 リラクゼーション 19:00 ●認定書授与
6日目 (9/17)	シアトル観光
7-8日目 (9/18-19)	(9/18) 14:10 シアトル発 (9/19) 16:45 東京(成田)着

▲現地担当の尹さん

人体解剖・人体治療法をアメリカで学ぶ!

海外研修の現場

カイロプラクティックの本場であるアメリカ・シアトル州のバスター大学において、人体解剖や様々な人体治療法を実践的に学ぶことができる研修ツアー。プログラムは人体解剖、カイロ施術、運動療法、ハーブ療法といった、日本ではなかなか学ぶことができない内容となっており、現場ですぐに役立つ技術や知識が詰まっています。

Bastyr University

自然医学を専門としている私立大学。自然医学分野においてはアメリカ有数の大学。キャンパス内には付属のクリニックがあり、薬用植物の庭園やベジタリアンのカフェなど自然療法・健康に貢献した施設も充実。

現地講師 高倉 昌宏氏

バスター大学自然医学部手技・運動療法学科 助教授、自然医学医師、鍼灸師、カイロプラクターとして開業する傍ら、バスター大学の手技、理学、運動療法学科を教えている。

第2回人体解剖海外研修

インタビュー INTERVIEW

HTA理事 田村 義信さん

参加者から「不満足」の声ゼロ 一生に一度レベルの貴重プログラムを徹底解剖!

「田村さんが校長を務めるHTAの認定校 YMCメディカルトレーナーズスクール(※以下 YMC)では2011年の3月に「人体解剖研修ツアー」という第一回目となる海外研修を来シアトルで実施されました。そもそも、どのような経緯で実現に至ったのでしょうか?」
初めは現地の方から「解剖実習の研修ツアーに出来ないか?」とオファーをいただいたのがきっかけでした。しかし当時、私自身は海外研修にあまり興味がありませんでした。というのも、解剖実習という響きは良いと感じましたが、果たしてそれが生徒さんの成長やしたいことと一致するか? という懸念があったのです。

特に YMC では人材育成に重点を置いているので、当初はあまり前向きに考えていなかったのが正直なところでした。
「人体解剖」と聞くとなんか興味は引かれるものの、具体的にどんな役に立つのかはイメージしづらいです。
その通りです。お金や時間を費やし、海外まで行って、人体解剖をして何が得るのか。正直、悩みました。実現できるのかと。そのせいでか、過去2回募集をかけたんですが、参加者が集まらず実現には至りませんでした。ですが、第1回目の研修が実現する前に、現地担当の尹さんと講師の高倉先生が、わざわざ来て下さり、この研修に熱心な話を下さったのです。

「人を育てたい」という整体師を目指す人や現場で頑張っている整体師やセラピストの役に立ちたいという想いを聞きました。聞けば聞くほど、目指す方向が私達と同じで、この熱い思いを持った人達と「どこにもない本物の研修」を作れば、と思いついた。この研修の実施を決めました。
「研修スケジュールはどのようなものでしたか?」
現地に滞在したのは1週間、そのうち研修をしたのは4日間です。授業は基本的に午前9時から午後6時まで。ただ先生が熱心なあまり、は当然あります。生徒が戸惑わないか、通訳と通ずること、細かいニュアンスが伝わるのか? 当初から不安要素でした。

ですが、その不安は一掃されました。講師の方も通訳の方も非常に丁寧な説明で、生徒も通訳もなく、授業に集中していました。逆に外国人の講師に教えてもらい、海外に来て学んでいるという気持ちになったのではないのでしょうか(笑)。
「参加者の方たちからはどんな感想がありましたか?」
最初ははじめてのこと、不安もあったせいか、「早く帰りたい」と言っていました(笑)。しかし研修の後半には「まだまだ勉強したい、もっと知りたい」という声に変わっていました。第1回目の参加者も同じことを言っていましたね。人体解剖を含め、社会で勉強するための1週間、海外へ行く。そういう体験は一生に一度しかない、貴重な経験になったはずなんです。内容に不満はなかった人ばかりです。皆さん「行ってよかった」と言っていました。

「きつと参加者の方たちにとって、大きな刺激にもなったでしょうね」
そうですね。モチベーションはかなり上がったでしょうね。私は技術で身体をケアするだけでなく、感性や心を研ぎ澄ませて患者様の性格や精神状態などを日々観察する必要があります。細かな所に目を配らせ、コミュニケーションをとるながら、施術を行う。つまり、技術や知識はもちろん、人間的に信頼されることが最も必要な職業なんです。ですから、この研修で開いた講師や現地スタッフ、共に参加した仲間との出会いが、技術や知識以上に施術者として、人として大きく成長できたのではないかと思います。

「3回目の研修ツアーも企画されているそうですが、過去2回とはどのような違いを出している予定ですか?」
人体解剖を軸に置きつつ、現場ですぐに使える手技や知識をどんどん教えていきたいですね。この研修はまだ2回なので、何が必要で何が必要でないか、参加者の声や現地の担当者との話し合いの中でよりベストな内容を考えています。限られた時間の中で、確実に結果が出る手技を身に付けてもらえる研修を目指しています。

講師の高倉先生は、同じ講師の目線から見ても非常に生徒をよく見ながら、指導してくれました。教え方も分かり易く、話も面白いので興味深いです。研修中に使われる教科書は300ページにも及びますが、皆さん授業によく集中していました。また、患者様と接する上での心構えなどもしっかりと伝えてくれます。私も生徒によくそういった話をしますし、非常に共感できます。本当に患者様から愛される施術者を育てたいという想いが強いんだと思います。そんな高倉先生と参加者にとってよりベストなものを追い続けていきたいと思っています。

●プロフィール 田村 義信(たむら よしのぶ)
HTA理事・YMCディカルトレーナーズスクール校長。自ら教室に赴いて生徒の指導に当たるほか、講師の育成にも力を注いでいる。技術だけでなく、ホスピタリティ精神を持った人材育成を心がけ、整体・セラピー業界のさらなる発展に貢献し続けている。

第3回人体解剖海外研修参加者募集!!

詳細はP10へ!

募集開始